

全身性エリテマトーデスおよび成人スティル病に合併したマクロファージ活性化症候群(MAS)の臨床的な特徴の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、全身性エリテマトーデスまたは成人スティル病と診断され、通院または入院中に血球貪食症候群（マクロファージ活性化症候群）を発症した症例の診断時の特徴や治療内容、またその治療後の経過を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2006年4月から2018年6月までの間に、全身性エリテマトーデスまたは成人スティル病と診断され、通院または入院中に血球貪食症候群（マクロファージ活性化症候群）と診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月、発症時の年齢、臓器障害、現病歴、血液検査データ
診断後の治療内容、治療後の血清CRP、フェリチン値の推移、観察期間中の生存/死亡およびその期間

◆研究方法◆

本研究は患者さんの上記データを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 脇 大輔
E-mail: kenkyu★chnet.or.jp（臨床研究センター）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明